

会 議 録

1 会議名

平成29年度第5回八千浦区地域協議会

2 議題

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成29年12月5日（火）午後6時00分から午後6時41分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、笠原武、笠原幸博、坂口晃義、坂詰喜範、
関川信之、関川幹雄、丸山光雄、柳澤 篤、渡辺孝三郎、渡邊修一
（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

会議に入る前に、12月1日付で新委員が任命したので報告させていただく。

- ・新委員へ任命書を交付
- ・新委員：渡邊修一氏（夷浜在住）

渡邊修一委員に自己紹介をお願いします。

【渡邊修一委員】

12月1日付で委員に任命された。地域協議会委員の皆さんには、今までもいろいろな場面でお世話になっており、顔見知りの方もいる。よろしくお願ひしたい。

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：笠原幸博委員、坂口委員に依頼

【滝澤センター長】

議題に入る前に事務局より11月21日（火）に開催された会長会議の内容について報告させていただく。

- ・参考「地域協議会会長会議」に基づき説明

【仲田会長】

地域協議会委員の中で、協議会内で要望を取りまとめて市へ提案することができると考えている委員がいるのではないかと、という意見もあった。地域協議会委員が自主的審議事項として取り上げることと、町内会長協議会が課題を取りまとめるという境目がよく分からず、自主的審議事項として取り上げるのはどうか、という疑問を持っている人もいた。

その後、懇親会があったのだが、隣に座った他区の会長が地域活動支援事業の件数や諮問事項が多く、協議会を月3回開催しているが、それに時間を要し自主的審議事項を協議する時間がない、と言っていた。

そして、特に過疎地域は人口減少等の大きな課題になってしまい、地域だけでは議論が進まない、という悩みもあった。

八千浦区でも他区の意見を参考にしながら、どのように審議していくかを相談していきたいと思っている。

では、議題に入る。**【協議事項】**平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

では、平成30年度地域活動支援事業について説明させていただく。

- ・参考資料②「平成29年度地域活動支援事業 八千浦区の採択方針等について」に基づき説明

【仲田会長】

会長会議の際に、市は、採択方針は一律ではなく、各区で特徴ある採択方針にしてい

ただきたいということを言っていた。「基本審査・共通審査基準」は全区共通だが、採択方針については各区に合った採択方針にしているということなので、八千浦区においても次回の採択方針の決定の前に参考となるような意見があれば出していただきたい。

【関川信之委員】

区を跨いで活動している団体に対して、所属している人数を区ごとに案分して提案するという事は可能なのか。可能であれば、どのようなプロセスで進めて行けば良いのか。その辺を勉強したい。

【仲田会長】

同じ事業であれば区を跨いで申請することは可能なのか。

【滝澤センター長】

同じ事業で、それぞれの区での活動があれば提案していただくことは可能である。

【仲田会長】

青少年育成会議で中学校のまちづくりフォーラムを行った際、雄志中学校から同じような意見が出ていた。雄志中学校は3つの区に跨っているが、雄志中学校でまちづくりフォーラムをやりたいとなった時に3つの区で議論することはできないから駄目だということになったとのこと。

【滝澤センター長】

直江津東中学校区も3区に跨っているが、直江津東地域学園運営協議会から提案していただいている。各区の配分額は生徒の人数で計算をして決定している。

【仲田会長】

事業としては3区で採択して経費の案分は生徒の人数で割るということか。

【滝澤センター長】

そうである。だが、スポーツ団体等とは性質が異なり、直江津東中学校の生徒が全員対象となる。

【関川信之委員】

似たような事例があれば事務局から報告していただきたい。

【坂口委員】

スポーツ団体に対しては、八千浦区から生まれた団体であったが故に、当区として手厚く補助をしていたかと思うが、昨今、少子化の影響か団体名は「八千浦」を使用しているが構成員は他区の子どものが多くなってしまっている。そのため、補助してあげたい

と思っても、他区の子どもが集まった団体ということで、「地域の子どものために」という当初の考え方と合わないところがある。次回の採択方針を決定する際に、当初の考え方について変えていかなければならない部分があるのではないかと。そして、少年消防隊育成会への補助額が年々増加してきている。今までは配分額内で実施できたが、少年消防隊育成会に対する支援について、委員の意見を取り入れた中で、どうしていくべきかをしっかりと考えないといけない時期にきているのではないかと考えている。

【坂詰委員】

少年消防隊育成会については、補助額が多くなってきており、公金を使っているということを考えると、このままの状態を補助を続けていくことが難しくなってくるのではないかと感じている。

少年消防隊は夷浜、西ヶ窪浜、下荒浜だけであり、黒井と遊光寺浜が入っていない。この先、黒井と遊光寺浜の子ども達は支援を受けていないという声が出てくるのではないかと。それは、地元の子を育てる、八千浦区を背負っていく人材を育てるという意味でも、良くないのではないかと。

当区の採択方針に「従来の事業を発展させたもの」とあるが、例年、各少年消防隊育成会で提案されている事業をやめ、地域全体の子ども達が対象となる新たな事業を企画し、その事業に対して支援するというのはどうか。

次にスポーツ団体であるが、活動には多額の費用も掛かるので、補助してもらいたいのは分かるが、基本的には趣味の要素が多く、購入したユニフォーム等は個人の持ち物になってしまう部分が多いと。その辺も考えていかななくてはいけないと思う。それと同時に、今年は「やちほ文化展」と「はまぐみ市」にマリンドリームズやちほが、ボランティアで朝から子ども達を連れて手伝いに来てくれた。八千浦スピリッツもフリーマーケットに出店し、焼きそばの販売等に地域貢献として参加してくれるようになった。そこは、当初と比べ、だいぶ進歩しており、地域と関わりを持とうとしてくれていると感じている。その点を勘案した上で、スポーツ団体へ多少なりとも支援をしながら、支援が行き過ぎる部分は抑えていけば良いのではないかと考えている。

今後の検討課題として、委員の皆さんと共通認識として持っていれば良い意見が出るのではないかと感じている。

【仲田会長】

坂詰委員の意見のような地域全体の子ども達を対象とした事業が提案されればそれに

勝るものはないと思っている。

【関川信之委員】

八千浦区の地域活動支援事業なので、八千浦区全体に関わる事業を提案するというこ
とは承知しているが、例えば町内単位で何か行うということも、今後、認めていくべき
ではないか。

【仲田会長】

では、次回の協議会で具体的な採択方針を議論するということになる。本日出た意見
は委員各自で持ち帰っていただき、採択方針を決める際にはさらに具体的になるように
していきたいと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【千田主事】

次回の協議会については1月下旬から2月上旬を考えている。日程は会長と副会長と
相談し御案内をさせていただく。

- ・1月4日（木）に開催される新年祝賀会の案内

【仲田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。